

中 銀 杏

花が咲き 笑顔があふれ
歌声が流れる学校

岩沼北中学校 学校だより 第4号
令和3年5月6日 文責 教頭

おめでとう! 60回目の開校記念日!

5月6日は、岩沼北中学校の開校記念日です。今年でなんと60回目となります。ですから、今年度の入学式・卒業式は「第60回入学式・卒業式」ということになります。

「60」といえば、人間でいうところの「還暦」に当たります。この機会に、60年間の学校の歩みを振り返ってみたいと思います。

(20周年記念誌及び30周年記念誌等を基に紹介いたします。)



<開校前史>

昭和30年代当時、岩沼町には岩沼中学校、千貫中学校、玉浦中学校の3つの中学校がありましたが、岩沼中の生徒数増加に伴い、岩沼中学区の一部と千貫中学区の統合中学校の設置が議論され、昭和36年(1961年)1月、岩沼町議会で統合中学校設置が議決されました。3月には校舎建設がスタートしました。開校に先立ち、校名・校章の初の公募が行われ、また、学区が二分されるということから、賛否両論続出し、慌てて岩沼中学区へ転居した人の話も伝わり、北中建設は当時としては町内の最大関心事だったようです。

校名は、公募の結果、東桜にお住いの川村昇二氏による「岩沼町立岩沼北中学校」と決まりました。校章は、遠く福岡県から応募いただいた城戸典弘氏によるデザインが採用されました。シンプルに「北」の字を図案化し、中央に「中」をどっしりと据え、盤石の意志とゆるぎない発展と向上を象徴したものです。

校歌は、山本正先生の作詞で、すくすくと伸び行く「生命・心・希望」の3つに重点を置き、恵み豊かな環境と不撓・不屈の意志を強調したものになっています。



<開校のころ>

昭和37年(1962年)4月1日、岩沼町立岩沼北中学校として、生徒数740名、教職員数32名、16学級の規模で開校しました。校名からも分かる通り、当時は岩沼市ではなく岩沼町でした。今年、岩沼市は市政50周年を迎えますが、北中は岩沼市よりも10歳年上ということになります。岩沼中の学区の一部と千貫中学校区の統合校として、千貫中を閉校し、岩沼中から独立開校したのが北中ということになります。

開校当時は、まわり一面、田んぼと畑に囲まれ、自然環境に恵まれた中に、当時としては珍しいマンション風の鉄筋校舎が建設され、新しい学校建築のモデルとして、県内外から注目されたそうです。田園地帯に近代的な白い校舎がぼつんと建つのみで、かなり目立ったのではないのでしょうか。体育館もプールもなく、校庭は雨が降るとぬかるみになったそうです。校舎は新しいものの、施設設備、教材教具は十分とは言えない状況で、図書室はあっても本は少なく、楽器類もほとんどなかったようです。岩沼市(町)、PTA、教職員、地域の方々に支えられ、徐々に教育環境を整えていったとのことでした。



創立時(1962年)の北中(校舎北側から撮影)



宮城県沖地震翌年(1979年)の北中

<岩沼西中学校への分離>

生徒数の増加に伴い、岩沼市内で一番の生徒数になっていた北中。学区の再編と岩沼西中学校建設が計画され、約半数に近い生徒たちが分離することとなり、岩沼西中開校のための準備が毎日の学校生活と並行して進められたとのことです。開校25年目の昭和61年（1986年）4月1日、北中から分離独立し、岩沼中の学区の一部を含めて、岩沼西中が開校しました。30周年記念誌では、25回生の先輩が「鮮明に焼きついている出来事が北中から西中への分離でした。2年間を共に過ごした後だけに、最後の1年間を共に過ごせない悲しみは大変大きなものでした。」と寄稿しています。

<校舎改築・木造校舎完成>

昭和53年（1978年）宮城県沖地震を経て、校舎も老朽化したことから、昭和62年（1987年）、校舎の全面改築が行われました。当時の先輩は、校庭の東半分には仮設されたプレハブ校舎に移り、開校当時の旧校舎が取り壊されました。「俺たちの校舎はない」と悲しんだ先輩もいたようです。

昭和63年（1988年）2月に木造校舎が、4月に鉄筋校舎が完成しました。これが現在の校舎ということになります。当時は全国的に見ても新築の木造校舎の数は少なく、木造校舎の視察のために、県内はもとより、全国各地から来客があり、口々に「木のぬくもりとあたたかさがよい」と感想を述べていかれたそうです。

創立30周年（1991年）には、記念事業として、PTAや同窓生、地域の方々のご協力により、正門から昇降口まで続く「グリーンベルト」が完成しました。そのときの記念碑「花とみどりは心のやすらぎ」が建立されています。それ以降、毎年、色とりどりの花が植栽されています。



創立20周年(1982年)の北中(旧校舎)



西中との分離の年(1986年)の北中(旧校舎)



新しい鉄筋校舎・木造校舎が完成(1988年)



創立50周年(2012年)の北中

<受け継がれる伝統>

さて、開校当初から受け継がれてきたものに、生徒会誌『いちよう』があります。第1号は昭和38年（1963年）2月発行です。今年2月に発行されたものが第59号でした。生徒会誌に限らず、先輩たちが築いてきた北中の歴史と伝統を受け継ぎ、よりよい北中を作り上げていくのは、生徒の皆さんです。保護者の皆さん、地域の皆さんも、北中生を温かく見守ってくださっています。新型コロナウイルスに負けず、頑張っていきましょう！

